

地域課題	交通手段の不足・不便, 公共交通の維持確保
市営バスの試み	デマンド交通の実証運行(前日までの事前予約制)
利用者の意見	前日までの予約が負担、面倒



AI配車サービス「福祉Mover」とのマッチング
(一社)ソーシャルアクション機構が開発、運用実績



事前予約からリアルタイムデマンドへ

- ・リアルタイムデマンド交通に対する利用者の声
- ・導入に対する費用対効果等

◆◆◆▶ 今後の検討材料を得る

実証運行の概要	
運行方法	既存バス停間運行(自由経路ミーティングポイント型)
対象路線	前山線 1台 (小型バス(定員14人))
実施期間	R.2.9.1(予定)~R3.1.31
運行日	月~金 ※ただし、祝日及び年末年始(12.29~1.3)は連休
乗車料金	100円/回 ※減免については通常通り
運行時間	右表のとおり(予定)
予約方法	①スマートフォン ②電話(市または運行業者が代理入力)
受付時間	平日のAM8:30~PM4:30(予定)

運行時間			
京ヶ瀬・前山→水原		水原→京ヶ瀬	
第1便	7:20	第2便	8:05
第3便	8:55	第4便	11:20
第5便	13:20	第6便	14:00
第7便	15:10	第8便	16:30

※網掛け(青)は現在の事前予約制
 ※網掛け(赤)はリアルタイムデマンド

(注) 現時点で予定しているものであり、今後、事業の詳細を詰めていく中で、内容等に変更があり得る。

生活交通手段の確保に向けて

地域外の民間経営資源を活用し、『総合計画』日常生活の支援（政策 03-施策 01-基本事業 01）、介護予防・社会参加の推進（03-01-04）、買物環境改善による市内購買力向上（04-02-04）、観光客入込数（04-03）、市内の交通手段の確保（05-03-01）の成果指標向上を目的とする。

誰のために 何を どうしたいのか **実証内容** どうやって

要支援・要介護の方
80歳以上の高齢者
約2,500人

約4,800人

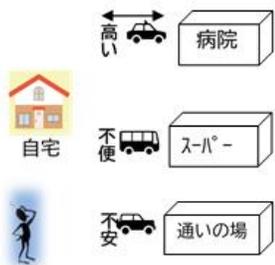
市外の高校に通学する学生

約1,100人

公共交通機関で来市する観光客

70歳代の高齢者

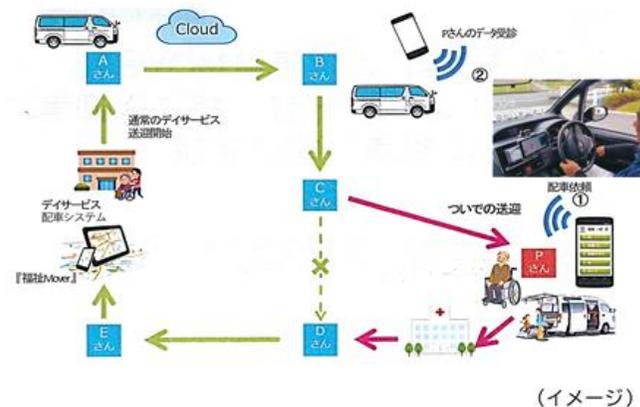
約5,200人



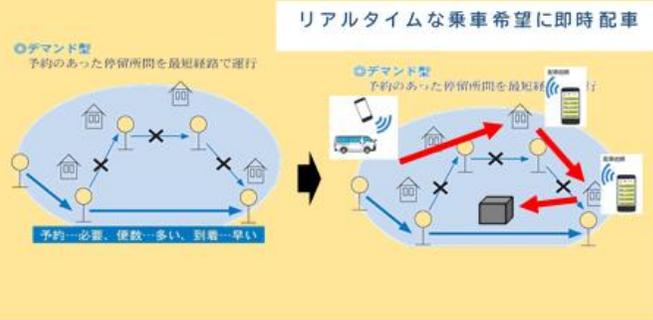
・予約制デマンド交通は不便
・年金ではタクシー使えない。
・病院、駅へのアクセス悪い。
・ボランティアだけでは限界。
・免許返納したものの……。
「車がないと生活できない」



■デイサービス送迎車を活用した相乗りの仕組み構築



■予約制デマンド交通 → リアルタイムデマンド交通 (市営バス)



AI配車サービス「福祉Mover」の活用

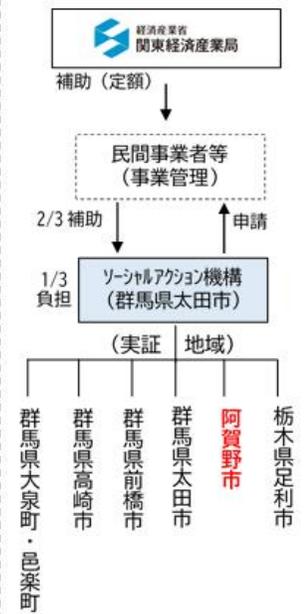


協力者

(一社) ソーシャルアクション機構
株未来シェア

経済産業省
『地域・企業共生型ビジネス
導入・創業促進事業』活用

【概要】
中小企業等が地域に共通する社会課題について、一体的に解決する取組などを技術やビジネスの側面から実証する取組を支援。
・実証支援 補助率2/3
【事業費】 53,850千円



- 阿賀野市内参画福祉法人
- ・飛翔福祉会
- ・阿賀北総合福祉協会
- ・はあとふるあたご